

(参考)エレベーター戸開走行事故の対応訓練の事例

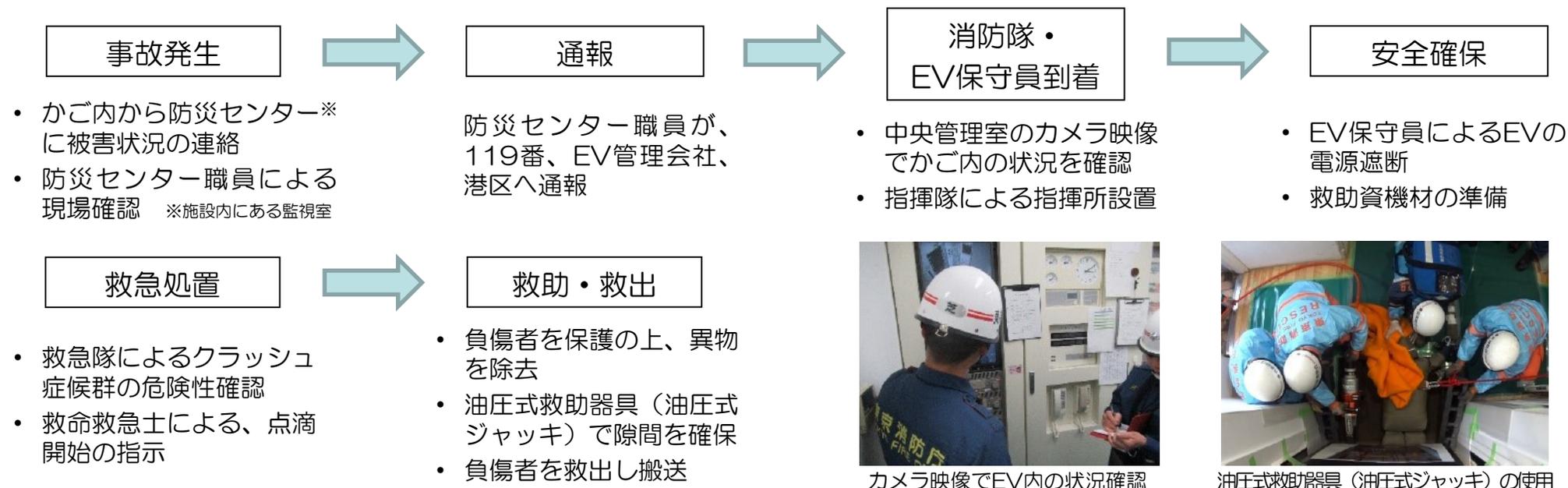
港区では、平成18年に発生したシティハイツ竹芝エレベーター事故を踏まえ、職員及び関係機関の連携と対応能力の向上を目的として、平成29年度より、区有施設において、戸開走行事故発生時の対応訓練や研修を継続的に実施している。

訓練概要

関係機関の協力のもと、戸開走行事故に伴う利用者の挟まれや閉じ込め等を想定し、職員が、事故現場の状況確認や関係機関への通報等、事故発生から救出までの一連の流れを確認し、各場面で求められる対応を把握することで、迅速な事故対応能力の向上を図る。

<平成30年度の例>

訓練想定：利用者がエレベーターのかご外に出る際にかごが動き出し、持っていた椅子（異物）とともに挟まれる



カメラ映像でEV内の状況確認



油圧式救助器具（油圧式ジャッキ）の使用